

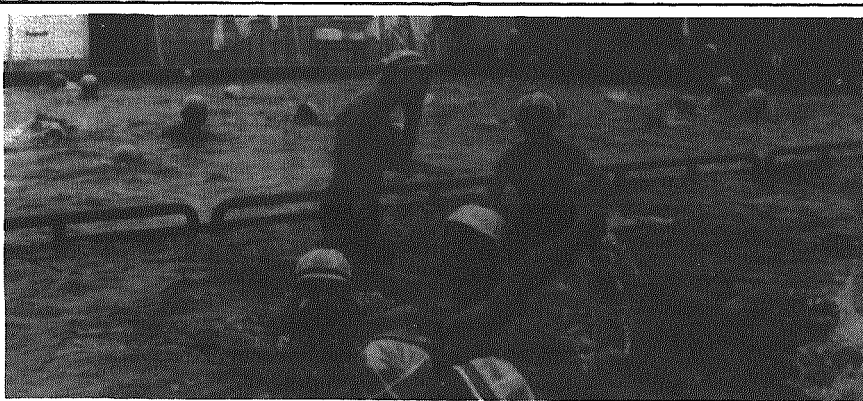
広報 ひんがし

第 16 号

発行所 黒埼村役場
発行人 清水善夫
印刷所 小野塚印刷廠

〈村の動き〉

6月末現在	
人口	17,267人
男	8,451人
女	8,816人
世帯数	3,840
6月1日から6月30日まで	
死亡	5
出生	36
婚姻	35



水しぶきを上げてはしゃぐカッパ達

子どもを水から守る運動

また、暑い暑い夏を向えました。毎年「子どもを水から守る運動」の実施については、広報、ポスター、チラシ等でPRを行なってきておりますが、また水泳の季節を迎え、小・中・高校生年代の水死事故が多発し、紙上をにぎわしております。各家庭では特に嚴重な注意・指導をお願いするとともに今季は一人の犠牲者も出さぬよう運動しましょう。

なお次の点を守りましょう。

- 一、学校で認められた水泳場以外の場所で水泳をしないこと
- 一、日没後または早朝など水泳に不適当な時間に水泳しないこと
- 一、空腹時や満腹時または疲れているときは水泳をしないこと
- 一、水泳以外の目的であっても、水泳禁止区域内にはいらないこと
- 一、こどもだけで水泳に行かないこと
- 一、水泳に出かけるときは、行先、同伴者、帰宅予定時間等を家人に知らせ承諾を受けること
- 一、水泳の前に必ず準備運動を行ったうえ、除々に水に入ること
- 一、水泳に自信のない者は、胸より深いところへはいらないこと
- 一、ロープや旗などで区切りをした外側へは出ないこと
- 一、水泳中におぼれたまねや、いたずらをしないこと
- 一、水泳中にけいれんや腹痛などを起こしたときは、大声で近くの人に知らせること
- 一、その他学校や家庭での注意をよく守ること

老人憩の家

建設工事着工 十月末には完成か

現在の老人は一番苦しい戦前戦後の中で生活を支え、子女の養育に日夜闘って余すところなく精一杯の生活を送ってきたために老後のことなど考える余地は全くなかった。

現在の少年や青年が昔の社会生活や耐久生活を理解できないと同じように、戦前戦後を通じての社会は急激にうつり変わり、「世の中は全く変わってしまった。」のが現在の老人の実感でないかと思われる。経済の急速な高度成長、老人口の増加、生活の基盤であった「家の制度」の廃止に伴う核家族化、最近のように別居や核家族の生活がいかに正しいといった背景の中で老人は自分のおかれている立場や身の処しかたにとまどっているといわれている。

しかし老人もただ単に昔を偲び疎外感に浸るのみでなく、社会人として生きるだけ機会あるごとに集団の仲間に入り、広く見聞を求め、知識を高める必要があるといわれている。

又反面社会や老人をとりまく周囲にも老人を温かく迎える環境や施設が必要であるといわれている。そのためには今日の礎石となった

老人に対し教養の向上、リクリーション等のための場を与え、一日をゆつくりとくつろいで戴き、老人の身心の健康の増進を図ることを目的とし、黒埼村では竝立地内に老人憩の家を建設することに

なりました。

工事内容

工期、昭和四十六年七月十五日から昭和四十六年十月三十一日まで敷地面積三、七二〇㎡、建築面積五〇三㎡、構造木造平家建シングル葺、設計者堤建築設計事務所、施工、樋口組

◎老人憩の家の名称募集

老人憩の家の名称を村民のみならずから広く公募したいと思っておりますので奮ってご応募願います。採用者一名に薄謝を贈呈します。申し込みは黒埼村役場、締切りは昭和四十六年八月二十日まで。例、船和荘(湯東村)、静閑荘(岩室村)、西川荘(西川町)

台風シーズンに備えて

備えて

- 一、台風情報を正確に聞くこと。
- 一、これは、新聞、ラジオ、テレビなどで、台風の強さと大きさ(気圧、雨、風)進行方向と速さ、今後の予想警戒すべき事項がもりこまれている。また、停電などに備えて、トランジスタラジオをお忘れなく用意下さい。
- 一、接近の時は次のことを忘れないように。
- 一、屋根、雨戸、扉などの補強
- 一、消火器、避難口の点検
- 一、懐中電燈、家庭常備薬、荷造り用ロープ、緊急用の食料、飲み水等の準備